

国立市議会議長 高柳貴美代 様

米軍横田基地より PFAS を含む泡消火剤が 3 千リットル以上も漏出する事故が発生していたことを受け、汚染源である
米軍横田基地への立ち入り調査・情報公開を早急に求めるよう、
国と政府に対し意見書の提出を求めるとともに、
防衛省に対し、米軍横田基地の PFAS 流出事故把握から公表が遅れた事に対する事案説明の住民説明会開催を求める事に関する陳情

陳情の趣旨

PFAS 地下水汚染は世界的な生態系・健康に対する危機であり、

水汚染は生存権に関わる問題である。

国際的には PFAS 規制が厳格化される動向にあり、その動きを注視している。

2023 年 7 月 22 日付東京新聞 1 面記事「PFAS を追う」にて、米軍横田基地で発がん性が疑われる有機フッ素化合物 (PFAS) を含む泡消火剤が漏出した問題で、防衛省は今年 7 月 21 日、2010 年～2012 年に発生した計 3 件の漏出を 2019 年 1 月に把握していたことを発表した事を知り衝撃を受けた。都と周辺自治体に事案を伝えたのは今年 6 月で、

漏出の把握から公表まで 4 年半を要しており、その間に地下水の汚染は進行し、

国立市を含む多摩地域一帯は、PFAS 高濃度汚染地域となった。

いったい防衛省はどこを向いて仕事をしているのだろうか。多摩地域に住む住民の命と健康を危険に曝し、土壌汚染を含む環境汚染問題に発展している現状を引き起こした原因である

防衛省と米軍横田基地には反省と再発防止、汚染の浄化を求めたい。

記事では、「省内の連携ミスで公表が遅れた」と記載されており、なぜ国防を担う組織で、

あってはならない連携ミスが発生したのか、詳細を説明する機会を、住民説明会のような形で、

多摩地域の住民に対して実施する必要があると考える。

米軍横田基地より PFAS を含む泡消火剤が3千リットル以上も流出する事故が発生していたことを受け、米軍横田基地内における PFAS 等を含む製品の安全管理状況の確認と実態把握のため、立ち入り調査を求める。

陳情事項

以下1から4の陳情事項で、国立市議会より国と政府(衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、厚生労働大臣、環境大臣、防衛大臣、北関東防衛局長)に対し意見書の提出を求めます。

1, 米軍横田基地の PFAS 漏出事案に対し情報公開させ、それに基づいて汚染を浄化させること。

2, 米軍横田基地の PFAS 漏出事案に対し、立ち入り調査が必要なため、政府が主権国家として実施すること。

3, 米軍横田基地における PFAS 等を含む製品の管理状況について調査を行うこと。

また、国が暫定指針値を定める以前の基地内の泡消火剤の使用履歴について調査を行い、結果を国の責任において公表すること。

4, 防衛省に対し、米軍横田基地の PFAS 漏出事事故把握から公表が遅れた事に対する事案説明の住民説明会開催(多摩地域の市民向け)を求める。

5, 永見市長は、米軍横田基地への立ち入り調査についてはどのように考えるか、また是非についての見解を伺う。